



7/27

**個人・団体が県大会を勝ち抜いた選手が挑戦
将棋で全国の舞台へ！**

「第50回全国高等学校総合文化祭囲碁・将棋大会」に出場する選手らが市役所を訪れ、佐喜眞市長へ大会出場を報告しました。県大会では、個人戦で渡慶次勇太さん(宜野湾高校2年)が優勝、新崎栄斗さん(北中城高校1年)が準優勝、団体戦で優勝した普天間高校の上原和音さん(2年)、中尾奏仁さん(2年)たちは「ベスト16を目指したい」「自分の将棋を貫きたい」など、それぞれ全国大会への意気込みを語り、佐喜眞市長から激励を受けました。

7/17

**宜野湾から、世界の舞台へ
日本代表として世界選手権に出場！**

8月にポルトガルで開催される「ITF テニスマスターズ世界選手権2026」45歳以上カテゴリ団体戦に日本代表として出場する富永健司選手が市役所を訪れ、大会出場を報告しました。富永選手は、全日本テニス選手権への出場や国内マスターズ大会で実績を重ね、日本代表に選出されました。相手を冷静に分析し、粘り強く戦うプレースタイルを武器に、世界の舞台へ挑みます。富永選手は「感謝の気持ちを胸に、一戦一戦全力で戦います」と決意を述べました。

7/10

**松川選手・宮城選手が全国の舞台で快挙！
全国大会優勝を市長へ報告**

白蓮会館沖縄支部に所属する松川巨煌選手と宮城史選手が市役所を訪れ、空手の全国大会優勝を佐喜眞市長へ報告しました。松川選手は「第8回W・K・Oジャパンアスリートカップ決勝大会」中学3年60kg以上で沖縄県勢初となるチャンピオンベルトを獲得しました。さらに「第5回極真全日本ジュニアファイナルカップ」では、松川選手が男子中学重量級、宮城選手が男子中学軽量級でそれぞれ優勝しました。2人は今後のさらなる活躍を誓いました。

7/1

**人権相談や啓発活動に取り組みます
人権擁護委員の委嘱**

7月1日付法務大臣より、西康勝さん、川満広美さん、末吉重人さん、田崎明美さん、崎原美智子さん、島袋盛子さん、安村美代子さんの7名に委嘱状が交付されました。人権擁護委員は、人権に係る相談を受け問題解決のお手伝いをしたり人権の考えを広める啓発活動を行う民間ボランティアで、本市では12名の方が活動されています。今回新たに人権擁護委員の委嘱を受けた西康勝さんは「地域に寄り添い、誰もが自分らしく安心して暮らせるまちづくりに貢献してまいります」と意気込みを述べられました。

7/20

**FC町田ゼルビアが少年サッカー教室を開催
市内の子どもたちがプロ選手と交流！**

宜野湾市立グラウンドのグラウンドオープニングイベントとして、「FC町田ゼルビア少年サッカー教室」が開催され、市内の小学生がリーグで活躍する選手たちと交流しました。教室では、ウォーミングアップやプロ選手とのミニゲーム、質問コーナーなどが行われ、子どもたちは選手と一緒にサッカーを楽しみました。選手からキック力やドリブルの上達方法などについてアドバイスを受けると、真剣な表情で耳を傾けていました。



8/10

**「AEC」を冠した新愛称が決定しました！
ネーミングライツパートナー契約調印式(宜野湾海浜公園内施設)**

アメリカン エンジニアリング コーポレーション(ケネス・マーク・エクスタースティン代表取締役社長)とのネーミングライツパートナー契約調印式が行われました。同社の通称である『AEC』が入ったこの新愛称は、令和8年8月10日から令和11年7月31日まで使用されます。同社は宜野湾海浜公園屋外劇場の施工を手掛けた実績があり、沖縄出身のエクスタースティン代表取締役社長は、「施設は完成して終わりではなく、地域に長く愛されることで存在価値が大きくなっていくと思います。多くの皆さまに愛される施設になればうれしいです。」と話しました。

令和8年8月10日より令和11年7月31日まで下記の愛称を使用します

宜野湾海浜公園屋外劇場: AEC オープンエア シアター ぎのわん
(AEC Open-Air Theater Ginowan)

宜野湾市立体育館: AEC アリーナ ぎのわん
(AEC Arena Ginowan)

7/14

**宜野湾市から2選手がナショナルゲームに出場
バスケットボールで東京大会へ！**

「第9回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・東京大会」のバスケットボール競技に出場する、仲村理選手と金城海斗選手が市役所を訪れ、大会出場を報告しました。2人は沖縄代表として5人制バスケットボール競技に出場します。仲村選手は「練習の成果を発揮し、優勝を目指して頑張ります」、金城選手は「決勝戦まで勝ち進み、優勝を目指します」と力強く意気込みを語りました。

7/14

**沖縄予選を全勝で制し、全国の舞台に挑みます
宜野湾ポニーズ、全国大会へ！**

宜野湾ポニーズが市役所を訪れ、「第42回中学硬式野球夏季大会兼第52回全日本選手権沖縄予選大会」で全勝優勝を果たし、「第52回全日本選手権大会」への出場を佐喜眞市長へ報告しました。宮里晃生キャプテンは「3年生22人全員で力を合わせ、全国大会でも全員野球で優勝を目指します」と力強く決意を述べました。佐喜眞市長は、沖縄予選を制した勢いを全国大会でも発揮し、最後まで全力でプレーするよう激励しました。

7/8

**日頃感じていることや、将来への思いを堂々と発表
こどもたち、それぞれの「主張」が集結！**

中央公民館にて「第36回宜野湾市少年の主張大会」が開催され、市内4中学校の代表生徒8人が、日頃感じていることや将来への思いを自分の言葉で力強く発表しました。「自分らしさ」や「努力することの大切さ」、「沖縄の基地問題」、「命を守る責任」、「家族の形」など、身近な体験をもとにした発表が行われました。最優秀賞には、宜野湾中学校3年の小濱穂夏さんの「家族の形」が選ばれ、宜野湾市代表として中頭地区大会へ派遣されます。

7/10

**高齢者の活躍と地域づくりを支える
シルバー人材センター 新理事長就任**

宜野湾市シルバー人材センターの関係者が市役所を訪れ、6/12付けで新理事長が就任したこと報告とあいさつを行いました。宜野湾市シルバー人材センターは、高齢者への就業機会の提供や地域でのボランティア活動など、さまざまな場面で宜野湾市の福祉向上と地域づくりに取り組んでいます。大城政利新理事長は「市と連携しながら、高齢者の生きがいづくりに繋がるよう頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。」と述べました。(写真左より比嘉武森事務局長、又吉澄雄副理事長、大城政利理事長)